

Principal Correspondence

令和の御世のはじまりです そして本を出しました

新緑の青葉がまぶしい季節となって参りました。新学期もようやく落ち着きをみせ、新しい「令和の御世」を迎えました。

昭和の戦後教育はアメリカの制度に倣ってできてきましたが、終戦直後とは違い、現在の教育環境は大きく変化してきています。

ネット時代の到来、子どもの実体験活動の極端な減少（バーチャル化）、早熟化、核家族化、少子化、さらには中高一貫校の増加等々・・・。

とりわけIT社会の発展はあまりに早く、子どもが成人する頃には今ある仕事の半分が無くなるとも言われています。職業の選択に親の経験が役立たない時代になりつつあるのです。

そんな中、私は、どんなに変化が激しい世の中でも人間が人間として幸せに生きていくためには「幼児期の良い環境と経験」がしっかりしていることが大事で、それは一生を左右することに気付きました。自分で考え、選択、創造する人望の厚い人はどんな課題も乗り越えられます。

アメリカの実験では、良質の幼児教育を受けた子どもを40年間追跡したところ、その子どもたちは自制心が強く、誘惑に負けず、大人になって高所得、高学歴、低犯罪率、自己実現率が高いというデータが出ています。

この度、ある出版社からの依頼で、本を全国出版いたしました。



四十数年の経験で幼少教育の重要性を語った内容です。

子育て世代の保護者の皆様は、経済的にも大変な時期です。そこでできるだけお金をかけずに家庭で実践できることを書きました。どんな子どもたちも幸せな人生を歩んで欲しいという一心で、今やっている間違った教育法にも触れたつもりです。

皆様がこの本をきっかけに、子どもをぐんぐん伸ばしていけますように、実践のお役に立てることを願ってやみません。